



平成28年度 施政方針

持続可能な高浜市であるために
何ができるか



高浜市長 吉岡 初浩

※本文は、市議会3月定例会で行った施政方針演説を要約したものです。

「我々が直面する重要な問題は、それをつくりだしたときと同じレベルで解決することはできない。」アインシュタインのこの言葉は、現代社会でも当てはまるかもしれない。人口構造が変化し、社会システムも複雑になる中、「過去や現在の現状分析を積み重ね、未来を予測する」という「フオアキャストイング」の考え方だけでは、課題解決できない場面がでてきています。

「次世代のために、今行うべき施策は何か。」を考えると、10年、20年先の長期経営の視点に立ち、持続可能で望ましい未来を想定し、臨機応変に戦略を立てていく「バックキャストイング」の考え方が有効であります。

「高浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「人口ビジョン」として、平成52年までに合計特殊出生率を2.07まで引き上げ、人口減少を抑制するなどの目標を掲げました。この目標を実現するために、「雇用創出」や「少子化対策」を中心に、第6次高浜市総合計画の基本計画をベースにした「創生戦略」をとりまとめ、「一人ひとりの想いが実現できるまち」「妊娠期から子育て期まで、子育てを応援するまち」「将来への希望に満ち溢れた子どもを育てるまち」などをめざして、さまざまな取り組みを行っていきます。

主要事業

Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくらう

- ❖ 企業誘致のための、東部地区の工業用地開発、北部地区整備構想に基づいた関係機関との協議・調整
- ❖ 地域経済の活性化・雇用安定のために、愛知県と連携した企業の再投資を促す支援制度の実施および既存企業の安定経営に向けた支援を実施
- ❖ 住宅などの庭の造園材料としての瓦材の活用ができるよう、三州瓦屋根工事奨励補助制度を拡充
- ❖ 「地域行動計画」を活用して、地域と防災訓練を協働実施
- ❖ 外国人向け防災訓練を引き続き実施
- ❖ 消防団員確保のための、家賃助成制度の見直し
- ❖ 市道港線整備のための道路の拡幅の用地取得などを推進
- ❖ 「公共施設総合管理計画」に位置づけられたインフラの長寿命化を計画的に実施
- ❖ 道路ストック総点検による、舗装修繕・橋りょう修繕
- ❖ 子ども環境美化推進員を増やすとともに、児童・生徒企画の環境学習を実施

Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- ❖ 生活困窮者自立促進のために、就労準備支援、家計相談支援、学習支援などの包括的な支援の実施
- ❖ 子どもの将来が、生まれ育った環境に左右されないように、子ども健全支援員による相談支援体制の強化、高校中退防止のための学習支援やひとり親家庭の小学生への学習支援を実施
- ❖ こども発達センターの専門職の学校巡回指導を中学校校まで拡充、小中学校との連携強化
- ❖ 子育て世代包括支援センターを拠点にした、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施
- ❖ 福祉避難所の新たな施設との協定締結に向けた協議、災害対策資器材の配備や避難所運営訓練の実施
- ❖ 障がいに関する相談員の拡充、相談体制の強化
- ❖ 新たな健康自生地の発掘と、ホコタッチを活用した国立長寿医療研究センターとの共同調査・研究
- ❖ 「脳とからだの健康チェック」の結果についての講演会を実施